

第19回 花と緑のデイサービス運営推進会議議事録

開催日	令和 7 年 9 月 25 日 (木曜日)
時間	午後2時から2時30分
場所	花と緑のデイサービス(地域密着型通所介護)食堂
作成者	管理者 大原 綾



運営推進会議出席者一覧

氏名	構成区分	役職・所属先	出欠
富岡様	利用者		○
太田様・奥様	利用者・家族		○
岩坂様	利用者家族		○
高妻様	利用者家族		○
平野様	利用者家族		○
齋藤様	利用者家族		○
壺岐様	民生委員		○
齋藤様	新富町役場介護保険係	主事	○
黒木様	地域包括支援センター	主事	○
新名様	介護支援専門員	居宅介護支援事業所羽廣	○
谷口様	介護支援専門員	ケアプランステーションルピナス	×
大原	事業所管理者		○

議事次第

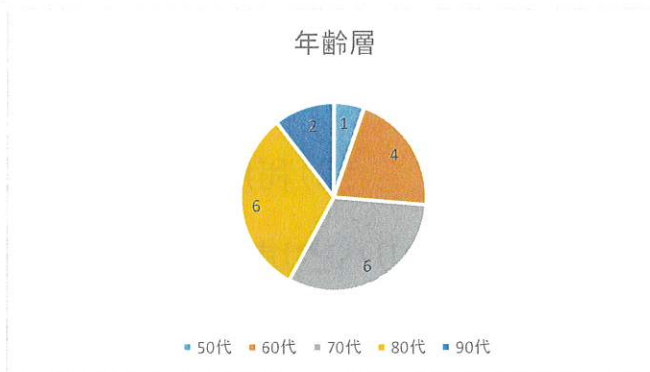
- 1)施設運営状況報告
- 2)利用者利用状況、個別支援の紹介
- 3)リハビリ専門職の事業所等派遣支援事業の報告
- 4)インシデント報告
- 5)避難訓練報告
- 6)内部・外部研修
- 7)季節の行事
- 8)今後の予定
- 9)質疑応答・意見交換欄

1)施設運営状況報告(8月現在)

*ご利用者登録者数:19名 (男9名 女10名)

*年齢層 (平均年齢:76.6歳)

年齢	人数
50代	1名
60代	4名
70代	6名
80代	6名
90代	2名



*職員体制・配置状況

- ・管理者 1名
- ・生活相談員 1名(常勤、介護福祉士)
- ・介護職員 5名(非常勤、介護福祉士 4名・常勤、准看護師 1名)
- ・機能訓練指導員 1名(非常勤、柔道整復師)

※基準を満たす体制で配置しています。

*時間別利用状況(8月の内訳)

時間帯	月	火	水	木	金	土	合計
午前 (9:30~12:30)	2名	1名	5名	0名	0名	2名	10名
午後 (13:30~16:30)	5名	6名	0名	4名	5名	5名	25名
1日 (9:30~16:30)	3名	3名	2名	3名	3名	3名	17名

*時間別利用者状況棒グラフ(8月分)

午前 9:30~12:30	10名						
	9名						
	8名						
	7名						
	6名						
	5名						
	4名						
	3名						
	2名						
	1名						
時間帯	人数	月	火	水	木	金	土
午後 13:30~16:30	1名						
	2名						
	3名						
	4名						
	5名						
	6名						
	7名						
	8名						
	9名						
	10名						

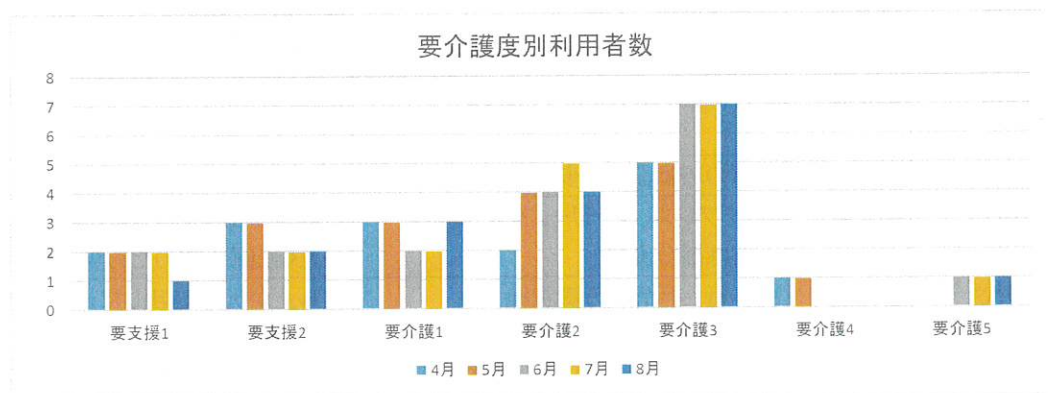
※定員午前10名、午後10名

半日デイ

1日デイ

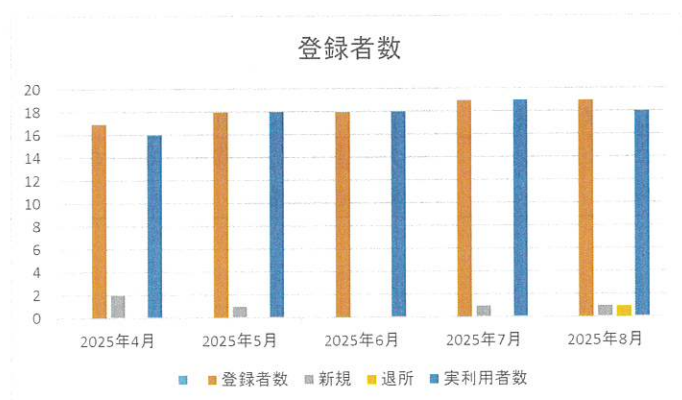
* 要介護度別利用者数

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	3	3	2	5	1	0	16
5月	2	3	3	4	5	1	0	18
6月	2	2	2	4	7	0	1	18
7月	2	2	2	5	7	0	1	19
8月	1	2	3	4	7	0	1	18

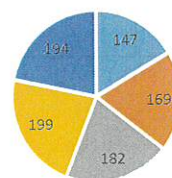


* 登録者数

月	登録者数	新規	退所	実利用者数	延べ利用者数	新規理由	退所理由
2025年4月	17	2	0	16	147	ケアマネ紹介	
2025年5月	18	1	0	18	169	ケアマネ紹介	
2025年6月	18	0	0	18	182		
2025年7月	19	1	0	19	199	ケアマネ紹介	
2025年8月	19	1	1	18	194	ケアマネ紹介	入院



延べ利用者数
・4月・5月・6月・7月・8月



2)利用者の利用状況、支援内容（4月から8月までの状況）

利用者	年齢	介護度	機能訓練	課題・支援内容
A様	60代	要介護3	杖歩行訓練、レッグプレス	身体の痛みが強く休まれる日が多い。
B様	60代	要支援2	平行棒内歩行訓練、レッグプレス 入浴は部分介助、跨ぎの動作の介助	下肢等に痺れがあり杖歩行時は 転倒予防のため付き添い介助。
C様	60代	要支援2	歩行器歩行、手指の巧緻訓練	頸椎神経損傷があり痺れ、痛みがある。
D様	80代	要介護3	手引き歩行、プーリー 入浴は部分介助、シャワー浴	視力障害がありすべてにおいて声かけ、誘 導を行う。
E様	90代	要介護3	歩行訓練、ネイルケア、ほぐし	下肢等に皮下出血が多く、剥離しないよう 注意をする。
F様	80代	要介護1	手指の巧緻訓練、歩行器歩行見守り	転倒予防のため、見守り強化。
G様	70代	要介護2	レッグプレス、プーリー、タオル体操 入浴は部分介助	右麻痺があり浮腫も強くみられ、動き が悪く転倒予防のため見守り強化。
H様	90代	要介護1	杖歩行。手指の巧緻訓練 入浴は部分介助、着脱は自立。	立ち上がり、歩き出しにふらつきが みられ見守り強化。
I様	50代	要介護1	スクワット、レッグプレス、腹筋 ドッグセラピー、音楽鑑賞	視力障害、歩行時のふらつきがある
J様	70代	要介護2	歩行器歩行、ほぐし	退院後すぐのため膝折れ等がみられ 転倒予防のため見守り強化。
K様	80代	要介護3	立上り、立位保持訓練。レッグプレス	リハビリに意欲的。
L様	80代	要介護2	歩行器歩行、間違い探し	認知症の進行に伴い、物取られ妄想 があり、できるだけ話を聞いている。
M様	70代	要介護2	レッグプレス、歩行器内歩行 入浴は部分介助。下衣は上げる介助を行う。	リハビリに意欲的。歩行時左側に注意 がいけないため見守り強化。
N様	80代	要介護5	立ち上がり、立位保持、レッグプレス トイレ誘導し排泄介助行っている。	左麻痺、左側空間無視あり。 健側からの声かけを行う。
O様	80代	要支援1	独歩だがふらつきあり。階段昇降 ルームウォーク、スクワット、プーリー	リハビリに意欲的。坐骨神経痛 があり痛みやしびれがある。
P様	70代	要介護3	立位プッシュ、レッグプレス プーリー、レッグエクステンション	左下肢麻痺があり立ち上がりに ふらつきがみられる。
Q様	60代	要支援1	手指の巧緻訓練、歩行訓練、 入浴は部分介助。更衣はほぼ自立。	身体の痛みがあり、自宅ではベット で生活。移動に時間がかかる。
R様	70代	要介護3	レッグプレス、レッグエクステンション チューブトレーニング	視力障害等があり移動は車いす。 リハビリに意欲的。

*個別支援の紹介

利用者	年齢	介護度	機能訓練				課題・支援内容		
G様 男性	70代	要介護2	レッグプレス、プーリー、柔軟体操 物理療法、巧緻訓練、体操 他				常に頭痛、肩、腰痛が持続している。 右麻痺、浮腫も強く見られ、動きが悪く転倒 予防のために見守り強化。 歩行。動作に時間がかかっている。		
			筋力テスト	測定月	体重	握力		5m歩行速度	評価
				4月	89.9kg	右:4.0	左:20.0	10秒	右上下肢の浮腫みが強く 体重は増加傾向。移動は 杖歩行でかなり右足を引き ずって歩かれる。動作に時間 がかかっている。
				5月	89.0kg	右:4.0	左:21.0	12秒	
				6月	90.9kg	右:3.0	左:19.0	測定不可	
				7月	91.9kg	右:4.0	左:17.0	20秒	
	8月	93.0kg	右:5.0	左:15.0	44秒				
利用者	年齢	介護度	機能訓練				課題・支援内容		
N様 男性	70代	要介護5	立ち上がり、立位保持訓練、 レッグプレス、日常動作訓練 他				左麻痺と左半側空間無視があるため 健側からの声かけや麻痺側の手足に 怪我や転倒のリスクが高いため注意しな がら実施している。		
			筋力テスト	測定月	体重	握力	レッグプレス	評価	
				4月	44.1kg	右:10.0	42	4月から比較すると5ヶ月間で体重は 1.9kg減。レッグプレスは訓練では負荷 22から8月は25に上げて取り組んで 頂いたが、テストの結果は-8だった。	
				5月	43.75kg	右:12.0	32		
				6月	42.80kg	右:12.0	34		
				7月	42.95kg	右:13.0	32		
	8月	42.20kg	右:11.0	34					
利用者	年齢	介護度	機能訓練				課題・支援内容		
H様 女性	90代	要介護1	集団体操、歩行訓練 物理療法、巧緻訓練、 他				下肢に痛みがあり、立ち上がり、歩行時 にふらつきが最近特に気になる。転倒 予防のため見守り強化している。		
			筋力テスト	測定月	体重	握力		5m歩行速度	評価
				4月	46.7kg	右:10.5	左:14.0	14秒	ご高齢で食事量が減って いることをご家族は気にして おられた。4月から8月につけ 体重は大きな変化はみられ なかった。
				5月	46.0kg	右:12.0	左:13.0	19秒	
				6月	44.6kg	右:12.5	左:12.5	10秒	
				7月	46.2kg	右:12.0	左:12.5	13秒	
	8月	46.05kg	右:12.0	左:12.0	13秒				
利用者	年齢	介護度	機能訓練				課題・支援内容		
O様 男性	80代	要支援1	集団体操、歩行訓練(独歩) ルームウォーク、プーリー レッグプレス、スクワット 物理療法 他				足の浮腫みや痛み、しびれ、坐骨神経痛など があり、立ち上がりや歩行時にふらつきが みられ転倒のリスクがある。自室での自主 運動の提案や確認を行う。		
			筋力テスト	測定月	体重	握力		5m歩行速度	評価
				4月	48.0kg	右:25.0	左:24.0	7秒	4月から8月までの筋力テスト ではそれほど大きな変化は みられず、現状維持されて いる。
				5月	47.4kg	右:24.5	左:24.0	7秒	
				6月	48.2kg	右:25.0	左:22.5	7.5秒	
				7月	49.4kg	右:26.0	左:24.0	7秒	
	8月	48.7kg	右:26.0	左:24.0	7秒				

3)リハビリ専門職の事業所等派遣支援事業の報告

日時	令和7年9月16日(火)・18日(木) 14:00～15:00 令和7年9月17日(水)・22日(月) 10:00～11:00
場所	デイサービス訓練室
内容	県主催、リハビリ専門職の事業所等派遣支援事業 利用者のADLや生活機能のアセスメント、評価、個別計画の提案とアドバイス
講師	16日・17日 隆徳会 鶴田病院 リハビリテーション科 主任安藤 正徳氏 18日・22日 隆徳会 鶴田病院 リハビリテーション科 青野 裕士氏
出席者	大原・白尾・緒方・上賀・今平・岩田

県主催のリハビリ専門職の事業所等派遣支援事業に参加し、今年は作業療法士に来所していただき利用者のADLや生活機能のアセスメント、評価、個別機能の提案とアドバイスを受ける。

作業療法士 安藤氏

B様	困りごと	歩行に不安を感じてきている。痛み、痺れを何とかしたい。
	改善策	歩行に関しては長い距離を歩くときに歩行器など使用することで自信もつき行動範囲が広がるのではないかと？頸椎、肩の痛みにはホットパックや低周波を行っていく。
	運動	座った状態で足指や足首の運動、足踏みなどの運動の継続。
R様	困りごと	日常生活では困っていることはない。
	改善策	今後も筋力維持向上運動の継続。
H様	困りごと	ご本人からは特に相談はなかった。職員から仰向けで休まれている時に、膝下にキリキリとした痛みがあることと立ち上がりや歩き初めに不安定さがみられることを相談する。
	運動	膝下の痛みにはこぶしつぶし、立ち上がりのふらつきに足指や足首の運動、足踏みなどの運動の継続。
A様	困りごと	麻痺側足首、内太ももの痛みがあるが病院では異常はないといわれる。
	改善策	麻痺側の足全体が硬いので、運動する前にマッサージを行い柔軟にしてから運動を行う。また翌日の痛みを確認して負荷の調節を図る。そうすることで起居動作はもっと自分でできるようなところがある。
	運動	自立に向けての起居動作。平行棒内での立ち上がり、歩行動作。
I様	困りごと	右腕の付け根から肘にかけての痛みが持続している。
	対策	肩から肘のあたりが硬くなっているのを動かしていく。また首が前に傾いているので姿勢を正すと良い。
	運動	首や肩回りの運動の継続と正しい姿勢の意識。
O様	困りごと	全部が悩み
	改善策	浮腫みがあるので足指や足首を動かす体操を行う。 運動した翌日に痛みや疲れが残った場合は調整する。
	運動	座った状態で足指や足首の運動、足踏みなどの運動の継続。 例：タオルギャザーや電池をつかみ箱に入れるなど 寝ている時はできれば足を挙上する。

作業療法士 青山氏

N様	困りごと	左半側空間無視と食事に時間がかかりむせ込みがある。
	改善策	食事の時はお盆の左側に赤などのテープを貼ったり、左側から声かけをおこない左側に意識が向くようにする。(進行予防の為) お茶でむせる→嚥下に問題がある 食事前に口腔体操を行ったりカラオケを歌うことは良いこと。 パタカラテストを行い評価する。
	運動	立ち上がりの上半身の重心の移動訓練にボールを使った運動。 膝裏のばしを10回3セット
P様	困りごと	両足を床につけて立ち上がれない
	改善策	立ち上がりの時に左下肢が上がってしまうのは、左下肢が反射的に上がってしまうため。 右と左の協調性の運動を取り入れる
	運動	装具を外して端座位になり膝の間にボールを挟みつぶす運動。左足底が床についていることを目視しながらボールをつぶす。(立つときにいらない力を抜く運動)平行棒運動よりマット運動の方が良いようにある。
L様	困りごと	物取られ妄想HDS-R10点は中期レベルに相当する。 最近笑顔が少なくイライラするといわれる。ドライブの声かけには笑顔がみられる。
	改善策	初期レベル・・・日にちや場所がわからない。同じことを何度も繰り返す等 中期レベル・・・記憶障害の進行。人がわからない、家族がわからない等 記憶に残らなくても楽しかったという印象は残るとされる。 重度レベル・・・無表情、排泄が難しくなる など 家族や関係機関と連絡をしっかりとっておく。
	運動	コグニサイズ(二つのことを同時に行う)、折り紙など
M様	困りごと	今度結婚式があるので歩き方を見てほしい。握力が弱い。
	改善策	座る時におしりの着座の角度が浅い。
	運動	着座の角度が浅い時は折り紙を折ると良い。 平行棒歩行では足が上がらず突っかかりがある。→棒を何本か置きそれを超える歩き方をする。 歩幅が狭い→テープでラインを貼り歩幅を意識してもらう。 足先があたりそうになる→外股を意識して歩いてもらう。 握力はハンドグリップ、ビー玉などの巧緻訓練。 手指だけでなく方から力をつける。ブーリーなど左手も動かすようにお茶を飲むときに両手で持って飲む など
K様	困りごと	以前のように歩けるようになりたい。
	改善策	前傾姿勢なので姿勢に気を付ける
	運動	移乗動作は足の位置が悪かった。足は肩幅、足の位置に注意、膝は平行に向けて移乗する。 立ち上がりや歩行姿勢は前傾姿勢になって歩行時足が出にくいので胸を張ること。そうすることで、体の疲れ方が違う。 平行棒内では、体重移動(片方に片方の体重50%くらいをのせる) 平行棒内を4～5歩歩行。戻る時は向きをかえ横歩きを実施。装具は着用した方が良い。

*個別支援の紹介

G様 困りごと 右下肢の浮腫みが強く、歩行も右足を引きずるように歩く
 改善策 下肢の浮腫みは股関節を温め、上肢の浮腫みは肩を温める
 (ホットパックなど)
 運動 1・腰の痛みがあるので腰のストレッチをする。(ゆっくり20回)
 椅子に座って両手で杖を持ち痛みがあるところまでゆっくり7秒前傾する。

2・背骨の中心にタオルケットを置くと背中の中のストレッチになる(3分程)
 そのままゆっくり足を上げてもらう、または少し介助を行うができる
 だけ自分で上げてもらう。
 (体と足の協調性が出てくる、歩いた時に腰を意識して歩くようになる)
 3・端座位になり足を持ち上げる運動。(股関節のストレッチ)
 腰と股関節のストレッチ、プラス温め、あと歩く練習が必要。
 これが1セット
 肩の痛み到低周波を行う。(強くすると逆に筋肉が固ま
 ってしまうので注意)

J様 困りごと 歩けるようになりたい。
 改善策 歩行は杖歩行と歩行器と半々で取り組んでもらう。
 運動 1・右足の動きが悪い。→殿筋(お尻)の疲労→お尻を温めるとよい
 ホットパックをお尻に敷き温める
 2・腰痛ストレッチをゆっくり10回(G様と同じ)
 3・平行棒内歩行は前を向き踵からつけるように指導する(特に右足)
 自宅でのストレッチ
 1・仰向けで左膝を両手で抱き引き寄せる(ゆっくり7秒数える)
 右ひざは痛みがあるのでハムストリングスと殿筋がのびるくらい、片手で添える
 程度で大丈夫。
 2・仰向けで両膝を立て右に傾ける時は右手で左の足を押さえる。
 その時に左肩がうかないように注意する。※反対も同じ
 3・骨盤体操 端座位に骨盤を前後、左右ゆっくり動かす
 4・歩行器をロックし立った状態で膝裏伸ばしをする。(7秒以上)

その他気になること

認知症状が進んできているような方がいるので、長谷川式簡易認知評価
 スケールで評価し、判定の数値が低い人や数値が進んできている人はご家族や
 ケアマネージャーに報告する。

食事の時間がかかるようになったり、むせ込みがある方にパタカラ体操だけでなく
 喉の筋肉を鍛える体操を指導していく

1・手のひらでおでこを押さえる
 お辞儀をするように頭を前に倒す。(5秒キープを10回)
 2・声は出さなくていいので、口をできるだけ大きく開き疲れたらやめる。これが1セットで
 1セットから増やしていく。
 3・顔の前にティッシュを置き出来るだけ長い時間、息を吐き続けるのと、息を力強く吹く
 の2タイプを行う。

また筋力テストと同じで口腔テストも行い今後の評価としていく
 オーラルディアドコネシス(パ・タ・カ テスト)

4)アクシデント報告

発生時	7月16日	性別	男性	介護度	要介護3
発生場所	利用者自宅玄関階段				
概要	朝の送迎にて2階から1階へ移動の際、利用者独歩で手すりをつかまって降りられる時不安定なためいつも職員がご利用者の前後で見守りを行っていたが、途中膝折れがあり尻もちをつかれ、両足がくの字に屈曲し痛みがあった。施設到着後機能訓練指導員が対応しご本人持参の湿布で対応する。以後痛みは改善された。				
原因として	1・ご利用者の体力からでは階段は少し危険だった。 2・職員が目視で注意を怠った。				
対策	職員がご利用者の前後につき、膝折れに注意しながら安全に対応を行っていく。				

発生時	7月21日	性別	女性	介護度	要介護1
発生場所	リハビリ室				
概要	デイサービス利用中に丸椅子から後方へ転倒され後頭部を打撲される。 後頭部にこぶができたので保冷材で患部を冷やし安静にさせていただく。 痛みはあるが吐き気などの訴えはなく、その後痛みは改善される。				
原因として	1・訓練室に丸椅子を置き、だれでも座れるように置いていた。 2・見守りを怠った。				
対策	背もたれのある椅子に座ってもらう。				

発生時	7月24日	性別	女性	介護度	要介護2
発生場所	本人居室				
概要	居室にお迎えに行くと、椅子に座っておられた。立ち上がり、杖歩行を2歩ほど歩かれた時に麻痺側にふらつかれハンガーラックによりかかるように倒れそうになられた。職員が支えたがそのままゆっくりと膝をつくように床に座り込んでしまった。 めまいや気分不良なく、体、足の痛み無し。 入浴時に体の状態を確認したが、打ち身、痛み、傷等は無かった。				
原因として	1・体調確認を怠った。 2・立ち上がり後すぐに歩き始めるのではなく、一呼吸おいてから歩いていただく。 3・見守り場所を前方ではなく、患側又はご利用者様にできるだけ近くで見守りや介助をする必要があった。				
対策	介助するときはできるだけ近くで見守り介助を行う。 ご利用者の身体状況の変化を他職員と共有し、介助の確認を行っていく。				

5)避難訓練報告

1・目的

デイサービス利用時間に南海トラフ巨大地震を想定した実地訓練と業務継続計画内容の検証等を行う研修。

2・日時・場所

9月10日(水曜日)15:00～16:00 デイサービス訓練室

*訓練内容

訓練内容	職員の行動	
シェークアウト音源	全員	利用者は車いすに座った状態だったので職員は車いすをおさえ固定する。
地震発生	全員	身をかがめ揺れが収まるのを待つ。
揺れが収まる	職員A	利用者の安否確認を行い、問題がないと確認した後、ヘルメットを装着し一時避難場所(駐車場)へ移動する。
	職員B	携帯ラジオをつけ情報収集を行う 建物の点検を行い安全を確認後施設に戻る。



*研修内容 研修場所:2階食堂 参加者:職員

1.南海トラフ地震に際し、新富町で震度6弱以上の地震発生した場合、事業所や周辺に想定される被害及び事業に及ぼす影響についてすべて挙げていく。

対象物	被害予想	影響等	対策
事業所内設備 備品	食器等が飛散 機能訓練機器の破損 浴室破損 昇降機の破損	収納物やファイル等の落下 実施不能または制限 サービスの中止または制限 入所者避難困難	転倒、転落防止処置 タンカ(布タンカ)の準備
ライフライン	水道、電気の途絶 配信の途絶	調理、排泄、入浴は困難 連絡調整不能	飲料水や生活用水、簡易トイレの備蓄。発電機の点検。 充電器の確保
施設建物 (屋内、屋外)	外壁のひび割れ、剥離、落下 窓ガラス破損、ガラスの飛散	施設使用不可→事業継続不能 施設の一部使用制限	建物に近づかない カーテンや飛散防止フィルム
道路等の亀裂	避難、帰宅困難。	利用者送迎の不可、 又は制限。	送迎の利用者家族との連絡体制。

*施設の想定される災害

一ツ瀬川氾濫による浸水害で想定最大規模の浸水が発生した場合、施設の浸水深は最大3m程度と想定され、施設2階に避難します。

一時避難場所	第1避難場所	第2避難場所
駐車場	施設2階	新富町文化会館

サービス利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後家族へ安否状況の連絡を行います。また利用者の帰宅を順次支援していきますが、可能であれば利用者家族の協力もお願いしたいと思います。

6)研修報告

外部研修

- 7月 緊急時の介護
- 〃 介護現場のリスクマネジメント
- 9月 虐待防止・身体拘束

内部研修

- 9月 避難訓練
- リハビリ専門職派遣支援



7)季節の行事

- 4月 施設入所者と西都原へ桜見学

8)今後の予定

- 11月頃 ミャンマーから新しい仲間が2名来られます。
- 12月 クリスマス会



9)質疑応答

- 大原 9月4日台風15号では新富町で警戒レベル4が発令されました。
施設では利用者の安全を考え、社長からサービス中止の指示を受け在宅利用者家族に連絡を取り早めに自宅に送りました。このように緊急時が発生した場合、連絡が取れるようご協力をお願いします。
- 新名CM この日は利用者だけが帰られたんですか？
- 大原 帰宅困難を考え、職員も早めに帰っていただきました。
- 新名CM 今までにこんなことはありましたか？
- 大原 今回が初めてです。
- 利用者 ミャンマーから2名来られるのは利用者ですか？職員ですか？
- 大原 職員です。人手不足が深刻化しており、今回遠い国から2名一緒に働いてもらうことになりました。
- 利用者 増員ですか？
- 大原 はい。増員になります。すみませんがよろしくお願いします。
- 家族 レッグプレスってどんなものですか？
- 大原 下半身の筋肉(お尻や太もも、太ももの裏側)を鍛えるマシーン。
座って行うため体を安定させることができ安全に運動を行うことができます。
- 家族 わかりました。
- 大原 他にご質問がなければこれで終了しますが、また何かございましたらご連絡ください。
回答させていただきます。

